

令和5年度

栃木県公立小中学校事務職員

研修会並びに総会



令和5年6月1日（木）、令和5年度栃事研研修会並びに総会がとちぎ福祉プラザにおいて開催されました。参加者数を制限して、4年振りに対面で行うことができました。

開会式には、栃木県教育委員会、栃木県中学校長会様に出席を賜りました。

総会では昨年度の事業報告・決算報告、今年度の事業計画・予算案について、事前に行った書面表決により承認されたことが報告されました。その中で、「日々定例業務に追われるなか、全ての事務職員が経営者の視点でマネジメント業務を推進するのは難しい」とのご意見をいただき、共同実施組織を活用しながら、「つかさどる」という視点で事務を統括し、調整することが「定型業務の再配分」につながるという栃事研の考えを説明しました。

「学校事務職員に期待すること」

引き続き行われた研修会では、栃木県教育委員会事務局義務教育課 主幹 高野 和泰 氏より、「学校事務職員に期待すること」と題し、学校で求められるこれからの事務職員像についてご講演をいただきました。

はじめに、事務を「つかさどる」学校事務職員の職務内容や、共同実施推進の効果と課題などについてご説明いただきました。

次に、期待したいこととして、現在の学校事務職員の年齢構成の現状に触れ、世代交代に備え不易流行の考えを大事にしながら、急務である若手事務職員の育成に向き合ってほしい、一人職として自覚・責任・プライドをもちながら、教員とは違った視点から学校経営に積極的に参画してほしいとお話がありました。



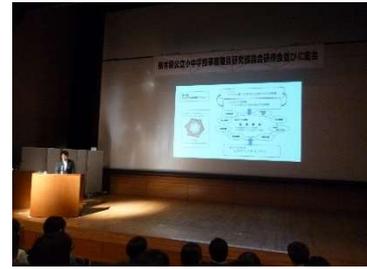
また、「俺が危ない。」という言葉を紹介され、自分を過信せず、不祥事防止について引き続きご協力いただきたいと述べられました。

おわりに、これからも子どもたちの笑顔のために自分の役割を理解して職務に当たってほしいと励ましのお言葉をいただきました。

「新サクセスプラン」について

栃事研研究プロジェクトチームより、「とちぎサクセスプラン」改訂版について説明がありました。

令和3年度のサクセスプラン達成度の調査で、Category や支部によっては、計画どおりに進まないことがあったことから、ビジョンで示しているミッションや課題は変更せず、サクセスプランの改訂を行うこととしたと説明がありました。



主な改訂点は、Category ごとの達成すべき点や目標をさらに明確に設定したこと、取り組む方法や時期を支部で検討できるようにしたこと、Category 4の「学校支援組織」を「連携組織」としたことの3点で、八つのCategoryについて詳細な説明がありました。

サクセスプランでは目標達成のための手段を挙げているが、手段に捉われることなく、それぞれの組織で目標達成のために実践・行動し、評価することが重要とのまとめがありました。